

IV 修学

IV 修学

1 授業

1) 学期

本学では1年を原則として前期と後期にわけて授業を行います。

前期 4月1日から9月30日まで

後期 10月1日から翌年3月31日まで

2) 授業時間

授業時間は1時限(1コマ)90分です。

時限	授業時間
I時限	9:00 ~ 10:30
II時限	10:40 ~ 12:10
III時限	13:00 ~ 14:30
IV時限	14:40 ~ 16:10
V時限	16:20 ~ 17:50
VI時限	18:20 ~ 19:50
VII時限	20:00 ~ 21:30

3) 欠席

原則として、授業を欠席・遅刻・早退する(した)場合、事前または事後に各自単位認定者に申し出てください。次の場合、授業を欠席しても出席扱いになりますが、いずれの場合も「**欠席届(公欠)**」(証明する書類を添付)を事務室へ提出した場合に限ります。

- ① 学校保健安全法に定める「学校において予防すべき感染症」に罹患し、出席停止となった場合(診断書*を添付) *詳細は報告フォーム参照

※ 上記に定める感染症に罹患した場合は、速やかに健康管理センターが指定する報告フォームより連絡してください(22ページ参照)。

- ② 天災等の理由により、交通機関が遅延して登校に支障があると本学が認めた場合(関係機関の証明書を添付)

- ③ 忌引きの場合(会葬礼状等証明する書類を添付)

※ 忌引きの範囲は次のとおりです。ただし、その起算日は原則亡くなった日の前日から告別式までの間とし、日数は土日祝日を含みます。

父母・・・・・・・・・・7日

配偶者、子供・・・・・・・・・・10日

祖父母、兄弟姉妹・・・・・・・・3日

伯叔父母、曾祖父母など(3親等)・・・・1日

- ④ その他学長が認めた行事等に参加する場合

※ 参加する行事等の内容がわかるものを持参し、事前に教務課まで相談してください。

4) 休講・補講・教室変更

休講・補講及び教室変更についての連絡は、掲示板（大学院生室内に設置）への掲示にて行います。なお、緊急を要するもの（天候不良による休講等）については、Active Academy Advance で掲示と同時に情報伝達を行います。

●大学院生対象アンケート●

本学大学院では、毎年度末に「大学院生対象アンケート」を実施しています。アンケート結果は、より良い授業や研究、学修環境となるよう教育改善に役立てられます。学生のみなさんが大学院での教育を受けて感じたことを伝える有効な手段ですので、ぜひ積極的に回答してください。アンケート回答時期・回答方法は別途お知らせします。

2 修業年限・修了要件

1) 修業年限

博士前期課程の修業年限は2年、博士後期課程の修業年限は3年です。

※職業を有している等の事情により、修業年限を超えて計画的に教育課程を履修し、修了することを希望する旨を申し出たときは、別に定めるところにより、その計画的な履修を認めることがあります。

2) 修了要件

各課程の修了要件は、次のとおりです。

博士前期課程

博士前期課程に2年以上在学し、所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、当該博士前期課程の目的に応じ、本大学院の行う博士前期課程の修士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については、博士前期課程に1年以上在学すれば足りるものとする。

・修了に必要な単位は30単位以上

(1) 共通科目の中から、5単位（必修科目を含む）を履修

(2) 専門科目主領域から方法論1単位、特論2単位、演習2単位、特別研究10単位の計15単位を履修

(3) 上記(1)、(2)以外の共通科目と専門科目の中から講義科目10単位以上を選択して履修

※ただし、公衆衛生学の学位授与には次の科目を必修科目とする。

・「疫学特論」 ・「生物統計学特論」 ・「健康行動科学特論」

・「環境保健学特論」 ・「健康・医療政策特論」

博士後期課程

博士後期課程に3年以上在学し、所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、当該博士後期課程の目的に応じ、本大学院の行う博士後期課程の博士論文の審査及び最終試験

に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については、博士後期課程に2年以上在学すれば足りるものとする。

- ・修了に必要な単位は14単位以上
- (1) 共通科目から2単位（必修科目）を履修
- (2) 専門科目から研究指導教員の指定する講義4単位、演習2単位 計6単位以上を履修
- (3) 特別研究6単位を履修

3) 長期履修

本学では、長期履修制度を導入しています。長期履修生となることを希望する者は、研究指導教員と相談の上、教務課へ申し出てください。詳細は以下のとおりです。

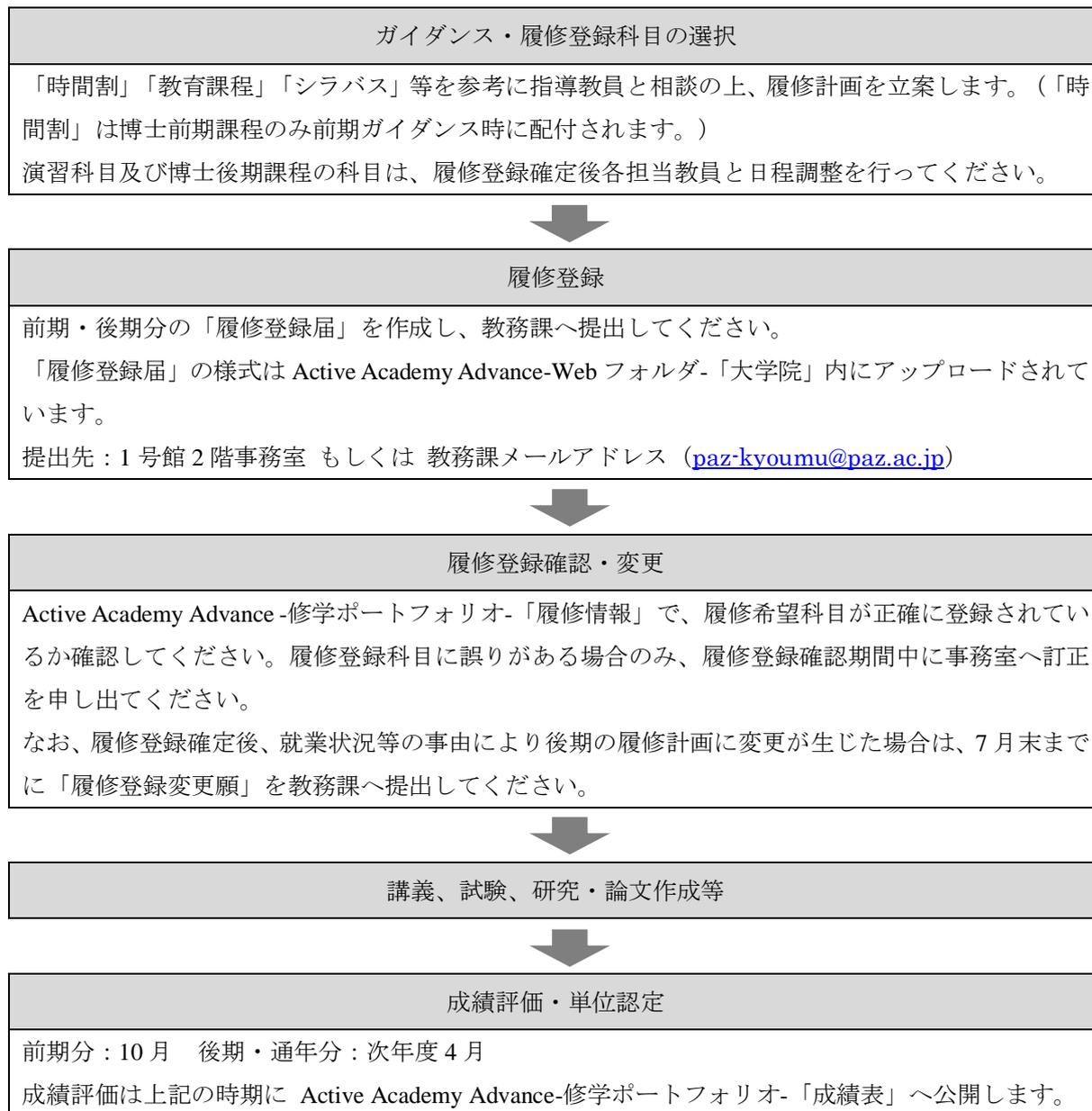
項目	詳細
対象者	(1) 入学時において有職者で、業務のため授業及び研究指導を受ける時間に著しく制約を受ける者 (2) 家事、育児、出産、介護等の諸事情により授業及び研究指導を受ける時間に著しく制約を受ける者 (3) その他本大学院が相当の事情があると認めた者
申請方法	以下に定める書類を添えて教務課に提出してください。 (1) 長期履修申請書（様式第1号） (2) 履修・研究計画書（様式第2号） (3) 有職者の場合は、在職機関が長期履修による通学を認める承諾書（様式第3号） (4) その他本研究科委員会が必要と認める書類
申請期限	在学生在が長期履修を申請する場合、 <u>長期履修を開始する学期の前々月末日（8月または2月）</u> までに申し出てください。
授業料	長期履修生の授業料は、設定した履修期間に関わらず、原則として標準修業年限分となります。授業料の年額を長期履修が許可された在学年限数で除した額を前期と後期に等分割した額を納めてください。

3 履修

1) 履修

学生は、その年次に開講される授業科目の中から各自履修する科目を選択し、以下の手順に沿って履修登録を行います。履修登録をした科目でなければ、授業に出席しても単位を修得することはできません。また、所定の期日までに履修登録を行わなかった場合は、当該期間における履修の権利を全て放棄したことになりますので十分注意してください。

【履修登録～単位修得までの流れ】



2) 履修方法

各課程の教育課程表に基づき、必要な修了要件を満たすよう履修します。

3) 履修登録上の注意

- ・履修登録は、各年度前期ガイダンス後の定められた期間内に必ず学生本人が行ってください。
- ・履修登録は前期・後期分をまとめて行ってください。履修登録確定後に、後期の履修登録内容に変更が生じた場合は、7月末までに「履修登録変更願」を教務課へ提出してください。
- ・同一時限に2科目以上の科目を重複して履修登録することはできません。
- ・既に単位を修得している科目の再履修はできません。
- ・当該科目が3分の1以上開講した後の追加・取消は一切認められません。
- ・休学期間中は履修登録を行うことはできません。

4 成績評価・単位認定

1) 成績評価及び単位認定

成績評価及び単位の認定は、シラバス「成績評価方法・基準」に準拠して行われます。成績の評価は以下の5段階に区分され、60点(C)以上を合格として単位が認定されます。59点以下(F)は不合格となり単位は認定されません。

A ⁺	A	B	C	F
100～90点	89点～80点	79点～70点	69点～60点	59点以下
合格(単位認定)				不合格

各授業科目の単位計算方法は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮し、授業の方法に応じ計算します。

※ 講義・演習：15～30時間の講義・演習をもって1単位とする。

※ 特別研究：研究に必要な時間数を考慮して博士前期課程10単位、博士後期課程6単位とする。

2) 成績通知

前期の成績評価は10月、前期後期通しての成績評価は次年度の4月にActive Academy Advance 修学ポートフォリオの「成績表」でお知らせします。

5 ティーチング・アシスタント (TA)

本学では、教育及び研究における指導者としてのトレーニングの機会を提供することを目的として、教育上の補助業務を実施するティーチング・アシスタント (TA) 制度を以下のとおり設けています。希望する学生は、研究指導教員と相談の上、教務課へ申請してください。

詳しくは、TA ハンドブック (Active Academy Advance – Web フォルダ) を参照してください。

対象者	本学大学院 博士前期・後期課程に在籍する学生
手当及び勤務時間 ※1コマ(90分)を 2時間とみなし算出	<u>博士前期課程</u> 1時間につき1,200円とし、1ヶ月30時間(15コマ)以内を原則とする。
	<u>博士後期課程</u> 1時間につき1,200円とし、1ヶ月60時間(30コマ)以内を原則とする。
契約期間	前期：4月～9月 後期：10月～3月 の半期ごととする。

6 ディプロマ・サプリメント

ディプロマ・サプリメントとは、学位の透明性を高めるために、個々の学生が学修した履修科目、その内容及び成績について幅広く明示的に示すことを目的とし、修了時に発行されるものです。既にEUで「卒業時の質を保証する公的証書」として広く普及しており、今後、日本社会においても学位・成績証明書と並んで、就職・転職活動で提出が求められる証書となることが見込まれています。

本学では、学位記とともに学位記授与式時にお渡しする予定です。修了前に、在学中に得た資格や学会参加等の活動を証明する書類の提出を求めますので、自身で保管しておいてください。

V-I 学位：博士前期課程（修士）

V-I 学位：博士前期課程（修士）

1 学位

1) 学位の名称

博士前期課程における学位の名称は、次のとおりです。

学位	専攻分野の名称		英語名称
修士	看護学	看護学領域	Master of Nursing Science
	リハビリテーション学	リハビリテーション学領域	Master of Rehabilitation Science
	医療技術学	病因・病態検査学領域	Master of Medical Science and Technology
		放射線学領域	Master of Medical Science and Technology
		臨床工学領域	Master of Medical Science and Technology
	公衆衛生学	公衆衛生学領域	Master of Public Health

2) 学位申請資格

博士前期課程に2年以上在学し、30単位以上を修得済みまたは修得見込みの者で、研究指導教員から学位論文提出の承認を得た者とします。

*在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については、当該課程に1年以上在学すれば、学位を申請することができます。この場合、「群馬パース大学大学院保健科学研究科における在学期間の短縮に関する申し合わせ」に定める手続きと判定が必要となります。

2 学位審査

1) 学位審査の方法

学位審査は、学位審査委員会による学位論文審査及び最終試験により行われます。最終試験は、提出された学位論文を中心として、口頭発表及びこれに対する試問の形で行います。なお、学位論文最終審査に先立ち、予備審査及び公開審査を行います。

2) 学位論文

学位論文は申請者単独の著作であって、研究領域における新たな知見または研究領域の進展に寄与する新たな観点・解釈、及び独自の考察を含む、和文または英文の論文とします。

3) 論文作成・審査・最終試験等に関する標準的なスケジュール

論文作成・審査・最終試験等に関する標準的なスケジュールは次のとおりです。

	時期・事項	提出者	提出書類・備考	提出先
1 年次	「研究計画書」作成 4月～9月		研究指導教員と相談の上、研究計画書を作成する。	
	研究倫理審査申請 10月～3月		研究倫理審査委員会へ審査申請書類提出 通常審査：10月・1月・4月・7月 / 迅速審査：随時	
	「研究計画書」提出 2月末	 《研究指導教員》	「研究計画書」 「指導教員指導計画書（大学院様式1号）」	1号館事務室 教務課
2 年次	研究中間発表会 8月		学位申請予定者が公開審査同様の形式で中間発表を行う。 発表（15分）、質疑応答（10分） 計25分	
	学位審査委員会設置 10月	 《研究指導教員》	・学位審査教員推薦書（大学院様式4）	1号館事務室 教務課
	学位論文審査申請 10月下旬～11月上旬	 《学生》	① 学位論文審査願（大学院様式3号） 1枚 ② 学位論文 3部※ ※以下の順に揃えて1部ずつクリアファイル等にまとめて提出。 i 表紙 ii 中表紙 iii 論文要旨 iv 目次 v 本文 vi 裏表紙（白紙） ③ 研究倫理教育受講修了証の写し 1通	1号館事務室 教務課
	予備審査 11月上旬～1月上旬		学位申請者・主審査教員1名・副審査教員2名で行う。	
	予稿データ提出 公開審査1週間前まで	 《学生》	ファイル名：「予稿（学籍番号：氏名）」	教務課メール アドレス (paz-kyoumu@paz.ac.jp)
	公開審査 1月下旬～2月上旬		出席者制限なし 博士前期課程…発表（15分）、質疑応答（15分） 計30分	
	最終試験・合否判定 (公開審査同日実施)		学位申請者・主審査教員1名・副審査教員2名で行う。	
	修了判定 2月中旬		(研究科委員会) 最終試験合否審査・学位授与判定	
	学位論文(製本用)提出 2月中旬	 《学生》	① 製本用学位論文表紙 【word】 ② 製本用学位論文データ 【PDF】 ※中表紙・論文要旨・目次・本文・裏表紙（白紙）の順に1つのPDFファイルにまとめたもの。 ③ ②を印刷したもの 1セット	①② 教務課メール アドレス (paz-kyoumu@paz.ac.jp) ③1号館事務室 教務課
	学位授与 3月上旬		学位授与・学位論文冊子受取	

4) 学位論文審査手続き

学位論文の審査を申請する場合は、指定の期日までに定められた書類と学位論文を事務室へ提出しなければなりません。詳細はスケジュールを確認してください。

なお、申請様式は **Active Academy Advance** からダウンロードして用いてください。申請に係る書類と学位論文については、それぞれ 36 ページ以降に示す学位論文作成に関する注意事項・作成例を参照して作成してください。

5) 予備審査

学位論文審査申請書類が正しく受理された後、予備審査を行います。予備審査は学位申請者・主審査教員 1 名・副審査教員 2 名のみで行います。

6) 公開審査

学位論文予備審査終了後、公開審査を行います（1 月下旬～2 月上旬予定）。出席者の制限はありません。

なお、研究指導教員による質疑応答は認められません。

○発表方法

- ・ 発表はパソコン（原則本学のノートパソコン（Windows）を使用）と液晶プロジェクターで行います。本学のノートパソコンには、最新の **Power Point**（プレゼンテーションソフト）がインストールされているため、旧バージョンで作成した場合、データが崩れる可能性があるため注意してください。なお、個人のパソコンの使用を希望する場合は、事前に教務課へ相談してください。
- ・ スライドの枚数制限はありませんが、発表時間内で収まるようにしてください。
- ・ 発表時間は 1 題につき 発表 15 分、質疑応答 15 分（審査教員中心 10 分、参加者中心 5 分）、**計 30 分** とします。
- ・ 発表時間の経過はベルで知らせます（14 分：ベル 1 回、15 分：ベル 2 回）。時間厳守で行ってください。
- ・ 発表時のパソコン操作は発表者が行ってください。
- ・ **Power Point** ファイルは発表前に発表用パソコンに移動しておいてください。ファイル名は発表順を半角数字で、発表者名を半角英字で保存しておいてください。（例）「1 - Takasaki Taro」

7) 学位論文審査の評価基準

学位論文の審査は、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）等を踏まえて行い、以下の各項目について評価します。

- (1) **研究課題の理解**：研究領域における専門的な知識及び研究課題に関連する知識を十分習得し、先行研究を十分吟味して課題を設定しているか。
- (2) **研究方法の理解**：研究方法是科学的根拠に基づき、目的達成のために適切か。また、研究方法について十分理解し、適切に研究を進めたか。
- (3) **研究内容**：研究内容は従来の研究と比較して何らかの新たな知見、または研究領域の進展に寄与する新たな観点・解釈を含むか。また、得られた結果に対して適切な考察がなされているか。
- (4) **表現の明瞭性**：研究の流れが明瞭に解説され、論理展開に整合性があるか。

その審査評価は、以下に示すような3段階の評価基準に従って行い、4つの評価項目が全て3以上であることを学位論文の合格基準とします（1が無いこと）。

修士学位論文 審査評価基準

評価項目	審査評価基準		
	5	3	1
研究課題の理解	知識を十分習得し 課題の設定も適切である	知識を十分習得している、または 課題の設定が適切である	知識の習得が不十分であり、 課題の設定も不適切である
研究方法の理解	科学的根拠が明確で 適切に研究を進めている	科学的根拠が明確である、または 適切に研究を進めている	科学的根拠が不明確であり、 適切に研究を進めていない
研究内容	新知見があり 考察が適切である	新知見がある、 または考察が適切である	新知見がなく、 考察も不適切である
表現の明瞭性	明瞭で整合性が高い	明瞭である、 または整合性が高い	明瞭でなく整合性も低い

8) 学位論文作成に関する注意事項・作成例

- (1) A4判、ページ設定は38字×35行、余白；上25mm、下20mm、左25mm、右25mmとする。フォントはMS明朝、英数字は半角のTimes New Roman、ギリシャ文字はSymbolとし、12ポイントとする。
- (2) パソコン等を使用し作成する。
- (3) 原則として100頁以内（図表含む）、片面印刷とする。
- (4) 使用言語は原則として日本語または英語とする。
- (5) 論文の内容は以下の項目を備えたものとする。ただし、序論、結論等の用語はこれに限らない。
 - I. 序論（研究目的とその背景）
 - II. 方法
 - III. 結果
 - IV. 考察
 - V. 結論
 - VI. 引用文献

※1 VI. 引用文献の記載方式は、バンクーバー方式（引用順方式）とする（43ページ参照）。

※2 図表は本文中に挿入するか、または、まとめて最後に載せる。最後に載せる場合は、「VII. 図・表」とする。

※3 本文には頁番号を付ける。

※4 この他、調査票等を資料として添付する場合は、「VII (VIII). 資料」とし、頁番号を別に付ける。

提出様式や学位論文については、それぞれ次ページ以降に示す注意事項及び作成例を参照して作成してください。

学位論文審査願

(西暦) 20XX 年 ● 月 ● 日

群馬パース大学大学院
保健科学研究科長 殿

申請者

- 博士前期課程 博士後期課程
 単位取得満期退学 研究生

入 学 年 度 (西暦) 20XX 年度

学 籍 番 号 ●●M1XX
(研 究 生 番 号)

氏 名 高崎 太郎 ⑩

群馬パース大学大学院学則第28条の規定により、下記の学位論文について審査願います。

記

1. 論 文 題 目

○○○○○○○○○○

2. 審 査 学 位 ※いずれかを○で囲む

- ・ 修士 (看護学)
- ・ 修士 (リハビリテーション学)
- ・ 修士 (医療技術学)
- ・ 修士 (公衆衛生学)
- ・ 博士 (医療科学)

3. 研究指導教員名

○○ ○○ 教授

Active Academy Advance「Webフォルダ」に
様式がアップロードされています。

(中表紙作成例)



保健科学研究科 保健科学専攻 博士前期課程 ●●●●領域

●●M1XX 高崎 太郎

研究指導教員 ○○ ○○ 教授

研究指導教員の職位と氏名を記載

(目次作成例)

目 次

※序論、結論等の用語は
これに限らない

I. 序論	1
II. 方法	1
1. 用語の定義	・・1
2. 研究対象	・・2
3. 調査方法	・・3
4. 調査期間	・・3
5. 分析方法	・・3
6. 倫理的配慮	・・4
III. 結果	4
1. 対象の概要	
2. ○○	・・4
3. ○○	・・5
4. ○○	・・8
5. ○○	・・23
IV. 考察	25
1. ○○	・・25
2. ○○	・・28
3. ○○	・・30
V. 結論	31
VI. 引用文献	32
VII. 図・表	34
VIII. 資料	35
資料 1 対象者宛研究依頼文「○○○の実施について（依頼）」	
資料 2 調査票「○○○に関する調査」	
資料 3 ○○	

研究依頼文等を添付する場合、
個人の連絡先等は伏せること。

●文献記載方法

【学術雑誌論文】

著者名. 論文名. 雑誌名. 出版年(西暦), 巻数(vol), 号数(no), p.はじめのページ-おわりのページ.

- (例) 1)Fujita K, Sato H, Kameko F, et al. An immunoglobulin A1 that inhibits lactate dehydrogenase activity, with reversal of inhibition by addition of NADH. *Ann Clin Lab Sci.* 2006, vol.36, no.4, p.461-468.
 2)小林亜由美, 矢島正榮, 小林和成, 他. 群馬県東北部山村住民の腰痛に関連する日常生活要因. *群馬パース大学紀要.* 2007, no.5, p.11-22.

【電子ジャーナル中の論文】

著者名. 論文名. 雑誌名. 出版年(西暦), 巻数(vol), 号数(no), p.はじめのページ-おわりのページ.doi.入手先, (入手日付).

- (例) Yajima M, Kanda K. Empirical analysis of content of support in regional intractable disease consultation. *Jpn J Nurs Sci.* 2013, vol.10, no.1, p.109-120. doi: 10.1111/j.1742-7924.2012.00217.x.
<http://onlinelibrary.wiley.com/doi/10.1111/j.1742-7924.2012.00217.x/full>,(参照 2018-11-18).

【単行本】

著者名. 書名. 版表示, 出版地, 出版者, 出版年(西暦), 総ページ数 p. (シリーズ名, シリーズ番号), ISBN.

- (例) 藤田清貴. 臨床検査で遭遇する異常蛋白質:基礎から発見・解析法まで. 東京, 医歯薬出版, 2010, 168p.
 ISBN978-4-263-22269-0.

《分担執筆の場合》

著者名.“分担題目”. 書名. 編者名. 出版地, 出版者, 出版年(西暦), p.はじめのページ-おわりのページ.

- (例) 伊東元, 高橋正明.“運動学とは”. 標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 運動学. 伊東元, 高橋正明編. 東京, 医学書院, 2012, p.3-5.

【ウェブサイトの引用 (ウェブサイト中の記事)】

著者名.“ウェブサイトの題名”. ウェブサイトの名称. 更新日時. 入手先, (入手日付).

- (例) 藤田清貴, 亀子文子.“電気泳動法による異常蛋白の分析および判読の仕方”. 更新日時 2009-01-26.
<http://zen.shinshu-u.ac.jp/modules/0096000000/>, (参照 2018-11-18).

(注1) 著者が3名以上の場合は、「～他」、若しくは「et. al」で略記する。

(注2) 編者は、氏名の後に「編」、若しくは「ed.」をつける。

(注3) 雑誌名は、慣用略称を用いる。医学系の場合は、医学中央雑誌収載誌目録及び Index Medicus に従う。

V-II 学位：博士後期課程（博士）

V-II 学位：博士後期課程（博士）

1 学位

1) 学位の名称

博士後期課程における学位の名称は、次のとおりです。

学位	専攻分野の名称	英語名称
博士	医療科学	Doctor of Philosophy in Medical Science

2) 学位申請資格

博士後期課程に3年以上在学し、14単位以上を修得済みまたは修得見込みの者で、研究指導教員から学位論文提出の承認を得た者とします。

- * 在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については、当該課程に2年以上在学すれば、学位を申請することができます。この場合、「群馬パース大学大学院保健科学研究科における在学期間の短縮に関する申し合わせ」に定める手続きと判定が必要となります。

2 学位審査

1) 学位審査の方法

学位審査は、学位審査委員会による学位論文審査及び最終試験により行われます。最終試験は、提出された博士論文及び学位論文を中心として、口頭発表及びこれに対する試問の形で行います。

なお、学位論文最終審査に先立ち、予備審査を行います。

2) 博士論文

博士論文は、申請者単独の著作であって当該研究領域（生体分子、病原体遺伝子、細胞機能、生殖補助技術、生体機能）で権威ある邦文又は欧文雑誌に印刷公表又は受理（掲載許可）されたものとします。ただし、次の要件をすべて満たす場合には共著論文を博士論文とすることができます。

- ① 当該研究領域（生体分子、病原体遺伝子、細胞機能、生殖補助技術、生体機能）で権威ある邦文又は欧文雑誌に印刷公表又は受理（掲載許可）された論文であり、申請者が筆頭著者であること。
- ② 研究及び論文作成の中心的役割を果たしたことが研究指導教員により証明され、共著者により同意されたものであること。

なお、「権威ある邦文又は欧文雑誌」とは以下のものとします。

- ・ IF (Impact Factor) がついている英文雑誌（国内発行雑誌含む）
- ・ 英文論文としての国内医学雑誌（正式な審査機関を有する査読付きの雑誌等）
- ・ その他、研究科委員会が認めた雑誌

3) 研究・論文作成・学位審査等のスケジュール

研究・論文作成・学位審査等に関する標準的なスケジュールは次のとおりです。

《1年次》

- ・自らの研究テーマに関する先行研究の検討と先行する知見の整理により、研究課題を明確化する。さらに、研究課題を科学的に探究するにふさわしい研究方法の検討と「研究計画書」の作成を行う。
- ・必要に応じて研究倫理審査委員会の臨床研究・疫学研究倫理審査、もしくは遺伝子解析倫理審査委員会における審査に向けて準備し、申請する。
- ・研究計画書に基づいて研究活動を展開する。

時期・事項	提出者	提出書類・備考	提出先
研究準備・ 「研究計画書」作成 5~8月		先行研究の整理、研究課題の焦点化、「研究計画書」の作成を行う。	
「研究計画書」提出 9月	 《研究指導教員》	「研究計画書」、 「指導教員指導計画書（大学院様式1号）」	1号館事務室 教務課
研究倫理審査申請 10月頃		研究倫理審査委員会へ審査申請書類提出 通常審査：10月・1月・4月・7月 / 迅速審査：随時	

《2年次》

- ・年3回開催される研究情報交換会において、研究指導教員以外の複数の異なる専門領域の教員によって研究内容、解析法、結果の考察に至るまで継続的に研究のアドバイスを受ける。
- ・関連学会での発表、博士論文の作成及び学術雑誌への投稿を行う。

時期・事項	提出者	提出書類・備考	提出先
研究情報交換会 5月・8月・12月		出席者：大学院担当教員、大学院生 ※博士前期・後期課程問わず 発表（20分）、質疑応答（10分） 計30分	
「研究情報交換会報告書」提出 実施後	 《研究指導教員》	研究情報交換会報告書	1号館事務室 教務課

《3年次》

- ・学位論文の作成、提出及び審査に向けて準備する。
- ・10月頃までには博士論文を当該研究領域（生体分子、病原体遺伝子、細胞機能、生殖補助技術、生体機能）で権威ある邦文又は欧文雑誌に投稿する。

時期・事項	提出者	提出書類・備考	提出先
学位審査委員会設置 10月	 《研究指導教員》	学位審査教員推薦書（大学院様式4）	教務課
学位論文審査申請 10月下旬～11月上旬	 《学生》	<p>《提出書類》</p> <p>① 学位論文審査願（大学院様式3号） 1枚 ② 学位論文 3部 以下の順に揃えて1部ずつクリアファイル等にまとめること。</p> <ul style="list-style-type: none"> i 表紙 ii 中表紙 iii 論文要旨 iv 目次 v 本文 vi 裏表紙（白紙） <p>③ 博士論文※1 3部 ④ 博士論文掲載受理証明書（博士後期様式1号）※2 1枚 ⑤ 論文目録（博士後期様式2号） 1枚 ⑥ 同意書（博士後期様式3-1、3-2号）※3・4 各1枚 ⑦ 履歴書（博士後期様式4号） 1枚</p> <p>※1 関連する副論文がある場合は別刷を提出 ※2 博士論文が既に公開されている場合は提出不要 ※3 博士論文が共著の場合、共著者分の同意書（博士後期様式3-1号）が必要 ※4 副論文があり共著の場合、共著者分の同意書（博士後期様式3-2号）が必要</p> <p>《提出データ》 ・ 博士論文 【PDF】</p>	1号館事務室 教務課 教務課メール アドレス (paz-kyoumu@paz.ac.jp)
予備審査 11月上旬～1月上旬	学位申請者・主審査教員1名・副審査教員2名で行う。		
予稿データ提出 公開審査1週間前まで	 《学生》	ファイル名：「予稿（学籍番号：氏名）」	教務課メール アドレス (paz-kyoumu@paz.ac.jp)
公開審査 1月下旬～2月上旬	出席者制限なし 発表（40分）、質疑応答（20分） 計60分		
最終試験 （公開審査同日実施）	学位申請者・主審査教員1名・副審査教員2名で行う。		
学位授与判定 2月中旬	（研究科委員会）最終試験可否審査・学位授与判定		
学位論文（製本用）提出 2月中旬	 《学生》	① 製本用学位論文表紙 【word】 ② 製本用学位論文データ 【PDF】 ※中表紙・論文要旨・目次・本文・裏表紙（白紙）の順に1つのPDFファイルにまとめたもの。 ③ ②を印刷したもの 1セット	①② 教務課メール アドレス (paz-kyoumu@paz.ac.jp) ③1号館事務室 教務課
学位授与 3月上旬	学位授与・学位論文冊子受取（場所：群馬音楽センター）		
論文公開	 《事務局》	学位授与報告書（学位授与から3ヵ月以内） ① 論文内容の要旨及び審査結果の要旨（大学院様式5、6-2、7）（学位授与から3ヵ月以内） ② 博士論文（全文）（学位授与から1年以内）	文部科学大臣 国立国会図書館 大学HP

4) 学位論文審査手続き

学位論文の審査を申請する場合は、指定の期日までに定められた書類と学位論文を事務室へ提出しなければなりません。詳細はスケジュールを確認してください。

なお、各種様式は **Active Academy Advance** からダウンロードして用いてください。申請に係る書類と学位論文については、それぞれ 51 ページ以降に示す学位論文作成に関する注意事項・作成例を参照して作成してください。

5) 予備審査

学位論文審査申請書類が正しく受理された後、予備審査を行います。予備審査は学位申請者・主審査教員 1 名・副審査教員 2 名のみで行います。

6) 公開審査

学位論文予備審査終了後、公開審査を行います（1 月下旬～2 月上旬予定）。出席者の制限はありません。

なお、研究指導教員による質疑応答は認められません。

○発表方法

- ・ 発表はパソコン（原則本学のノートパソコン（Windows）を使用）と液晶プロジェクターで行います。本学のノートパソコンには最新の Power Point（プレゼンテーションソフト）がインストールされているため、旧バージョンで作成した場合データが崩れる可能性があるので注意してください。なお、個人のパソコンの使用を希望する場合は、事前に事務室へ相談してください。
- ・ スライドの枚数制限はありませんが、発表時間内で収まるようにしてください。
- ・ 発表時間は 1 題につき 発表 40 分、質疑応答 20 分（審査教員中心 10 分、参加者中心 10 分）、**計 60 分** とします。
- ・ 発表時間の経過はベルで知らせます（35 分：ベル 1 回、40 分：ベル 2 回）。時間厳守で行ってください。
- ・ 発表時のパソコン操作は発表者が行ってください。
- ・ Power Point ファイルは発表前に発表用パソコンに移動しておいてください。ファイル名は発表順を半角数字で、発表者名を半角英字で保存しておいてください。（例）「1-Takasaki Taro」

7) 学位論文審査の評価基準

学位論文は、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）等を踏まえ、当該研究領域（生体分子、病原体遺伝子、細胞機能、生殖補助技術、生体機能）において、自立した医療人（研究者、教育者等）として高度な研究能力及びその基礎となる豊かな学識を修得しているかという観点で審査を行い、「斬新さ・新奇性」、「重要性」、「研究方法の正確性」、「表現の明瞭性」の各項目にて評価されます。

- (1) **斬新さ・新奇性**： 先行研究を十分に検討・吟味した上で、新しい発想に基づく研究であるか。
- (2) **重要性**： 学術的意義を有するとともに発展性があり、かつ社会に貢献する内容であるか。
- (3) **研究方法の正確性**： 目的達成のための研究方法が適切かつ正確であるか。
- (4) **表現の明瞭性**： 研究の流れが明瞭に解説され、論理展開に整合性があるか。

その審査評価は、以下に示すような3段階の評価基準に従って行い、4つの評価項目が全て3以上であることを学位論文の合格基準とします（1が無いこと）。

博士後期課程 学位論文審査評価基準

評価項目	審査評価基準		
	5	3	1
斬新さ・新奇性	新しい発想及び 新知見がある	新しい発想がある、 または新知見がある	新しい発想及び 新知見がない
重要性	学術的意義があり 発展性が高い	学術的意義がある、 または発展性が高い	学術的意義が少なく 発展性も低い
研究方法の正確性	適切かつ正確性が 高い	適切である、または 正確性が高い	適切でなく正確性も 低い
表現の明瞭性	明瞭で整合性が高い	明瞭である、または 整合性が高い	明瞭でなく整合性も 低い

8) 学位論文の公表

提出された学位論文は、学位を授与された日から1年以内に本学ホームページにて公表されます。また、学位論文の内容の要旨及び論文審査の結果の要旨は学位を授与された日から3ヶ月以内に本学ホームページにて公表されます。

9) 学位論文作成に関する注意事項・作成例

- (1) A4判、ページ設定は38字×35行、行間2行、余白；上25mm、下20mm、左25mm、右25mmとする。フォントはMS明朝、英数字は半角のTimes New Roman、ギリシャ文字はSymbolとし、12ポイントとする。
- (2) パソコン等を使用し作成する。
- (3) 原則として100頁以内（図表含む）、両面印刷とする。
- (4) 使用言語は原則として日本語または英語とする。
- (5) 論文の内容は以下の項目を備えたものとする（英語もしくは日本語で記載、括弧内は和文の場合）。ただし、Introduction、Conclusion等の用語はこれに限らないこととする。

I. Introduction（序論）・・・研究目的とその背景

II. Materials and Methods（材料と方法）

III. Results（結果）

IV. Discussion（考察）

V. Conclusion（結論）

VI. References（引用文献）

VII. Tables and Figures（表・図）

- ※1 VI. 引用文献の記載方式は、バンクーバー方式（引用順方式）とする。
- ※2 図表は図の説明とは分けて最後にまとめ、1枚ずつ載せる。図表は鮮明であること。
- ※3 本文には頁番号を付ける。
- ※4 この他、調査票等を資料として添付する場合は、VIII. Related documents（資料）とし、頁番号を別に付ける。

*本文最終ページの次のページに以下の通り博士論文を記載すること。

1. 主論文（博士論文）

著者名. 論文名. 雑誌名. 出版年(西暦), 巻数(vol), 号数(no), p.はじめのページ -おわりのページ.

(例) Hanako Gunma, Ichiro Takasaki, ○○○○, …

2. 副論文

著者名. 論文名. 雑誌名. 出版年(西暦), 巻数(vol), 号数(no), p.はじめのページ -おわりのページ.

(例) Hanako Gunma, Ichiro Takasaki, ○○○○, …

(学位論文審査願記載例)

大学院様式第3号

学位論文審査願

(西暦) 20XX 年 ● 月 ● 日

群馬パース大学大学院
保健科学研究科長 殿

申請者

- 博士前期課程 博士後期課程
 単位取得満期退学 研究生

入 学 年 度 (西暦) 20XX 年度

学 籍 番 号 ●●D1XX
(研 究 生 番 号)

氏 名 高崎 太郎 ⑩

群馬パース大学大学院学則第28条の規定により、下記の学位論文について審査願います。

記

4. 論 文 題 目

○○○○○○○○○○

5. 審 査 学 位 ※いずれかを○で囲む

- ・ 修士 (看護学)
- ・ 修士 (リハビリテーション学)
- ・ 修士 (医療技術学)
- ・ 修士 (公衆衛生学)
- 博士 (医療科学)

6. 研究指導教員名

○○ ○○ 教授

Active Academy Advance「Webフォルダ」に
様式がアップロードされています。

(学位論文表紙作成例)

博士 (医療科学) 学位論文

18 ポイント

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

22 ポイント・太字
英数字は半角の
Times New Roman

(○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○)

20●●年度

タイトルが英文の場合には
括弧書きで日本語タイトルも記載

製本論文表紙は
全て MS 明朝・センタリング

18 ポイント
英数字は半角の
Times New Roman

群馬パース大学大学院

保健科学研究科 保健科学専攻 博士後期課程

医療科学領域

高崎 太郎

(目次作成例：各項目のタイトルは英語、日本語どちらかを記載する、括弧内は日本語の場合)

Contents (目次)

※Introduction、Conclusion 等の用語はこれに限らない。

I. Introduction (序論)		1
II. Materials and Methods (材料と方法)		1
1. ○○		・・1
2. ○○		・・2
3. ○○		・・3
III. Results (結果)		4
1. ○○		・・4
2. ○○		・・4
3. ○○		・・5
IV. Discussion (考察)		25
1. ○○		・・25
2. ○○		・・28
3. ○○		・・30
V. Conclusion (結論)		31
VI. References (引用文献)		32
VII. Tables and Figures (表・図)		34
VIII. Related documents (資料)		35
Document 1 (資料1)	対象者宛研究依頼文「○○○の実施について (依頼)」	
Document 2 (資料2)	調査票「○○○に関する調査」	
Document 3 (資料3)	○○	

※研究依頼文等を添付する場合、個人の連絡先等は伏せること。

*** 本文最終ページの次のページに以下の通り博士論文を記載してください。**

1. 主論文 (博士論文)

Hanako Gunma, Ichiro Takasaki, ○○○○, ・・ (著者名. 論文名. 雑誌名. 出版年(西暦), 巻数(vol), 号数(no), p. はじめのページ -おわりのページ.)

2. 副論文

Hanako Gunma, Ichiro Takasaki, ○○○○, ・・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・

● 文献記載方法

【学術雑誌論文】

著者名. 論文名. 雑誌名. 出版年(西暦), 巻数(vol), 号数(no), p. はじめのページ-おわりのページ.

- (例) 1) Fujita K, Sato H, Kameko F, et al. An immunoglobulin A1 that inhibits lactate dehydrogenase activity, with reversal of inhibition by addition of NADH. *Ann Clin Lab Sci.* 2006, vol.36, no.4, p.461-468.
 2) 小林亜由美, 矢島正榮, 小林和成, 他. 群馬県東北部山村住民の腰痛に関連する日常生活要因. *群馬パース大学紀要.* 2007, no.5, p.11-22.

【電子ジャーナル中の論文】

著者名. 論文名. 雑誌名. 出版年(西暦), 巻数(vol), 号数(no), p. はじめのページ-おわりのページ. doi. 入手先, (入手日付).

- (例) Yajima M, Kanda K. Empirical analysis of content of support in regional intractable disease consultation. *Jpn J Nurs Sci.* 2013, vol.10, no.1, p.109-120. doi: 10.1111/j.1742-7924.2012.00217.x.
<http://onlinelibrary.wiley.com/doi/10.1111/j.1742-7924.2012.00217.x/full>,(参照 2018-11-18).

【単行本】

著者名. 書名. 版表示, 出版地, 出版者, 出版年(西暦), 総ページ数 p. (シリーズ名, シリーズ番号), ISBN.

- (例) 藤田清貴. 臨床検査で遭遇する異常蛋白質:基礎から発見・解析法まで. 東京, 医歯薬出版, 2010, 168p.
 ISBN978-4-263-22269-0.

《分担執筆の場合》

著者名.“分担題目”. 書名. 編者名. 出版地, 出版者, 出版年(西暦), p. はじめのページ-おわりのページ.

- (例) 伊東元, 高橋正明.“運動学とは”. 標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 運動学. 伊東元, 高橋正明編. 東京, 医学書院, 2012, p.3-5.

【ウェブサイトの引用 (ウェブサイト中の記事)】

著者名. “ウェブサイトの題名”. ウェブサイトの名称. 更新日時. 入手先, (入手日付).

- (例) 藤田清貴, 亀子文子.“電気泳動法による異常蛋白の分析および判読の仕方”. 更新日時 2009-01-26.
<http://zen.shinshu-u.ac.jp/modules/0096000000/>, (参照 2018-11-18).

(注1) 著者が3名以上の場合は、「～他」、若しくは「et. al」で略記する。

(注2) 編者は、氏名の後に「編」、若しくは「ed.」をつける。

(注3) 雑誌名は、慣用略称を用いる。医学系の場合は、医学中央雑誌収載誌目録及び Index Medicus に従う。

(博士論文掲載受理証明書記載例)

博士後期様式 1 号

博士論文掲載受理証明書

西暦 20XX 年 ● 月 ● 日

保健科学研究科長 殿

論文題目

「○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○」

上記の博士論文が未公開であるため以下の書類を添付します。

1.

学術誌編集部等より送付された掲載受理証明書 (Acceptance Letter) の写し、
あるいは「Accept」メールのコピーを添付すること

(履歴書記載例)

博士後期様式4号

履 歴 書

報 告 番 号	甲 第 号		
ふりがな 氏 名	たかさき たろう 高崎 太郎 (印)	性 別	男or女
生 年 月 日	西暦〇〇〇〇年〇〇月〇〇日		
本 籍	〇〇県		
現 住 所	〒 000-0000 〇〇県〇〇市〇〇町 〇-〇-〇 電話番号 (〇〇〇) 〇〇〇-〇〇〇〇		
学 歴	西暦 年 月 日 〇〇県立〇〇〇〇高等学校 卒業 西暦 年 月 日 〇〇大学〇〇学部〇〇学科〇〇専攻 入学 西暦 年 月 日 同上卒業 西暦 年 月 日 〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻 (〇〇課程) 入学 西暦 年 月 日 同上修了 西暦 年 4月 1日 群馬パース大学大学院保健科学研究科保健科学専攻博士後期課程 医療科学領域入学 同上在学中		
	単位取得満期退学の場合は 「西暦〇〇年3月31日 同上単位取得満期退学」と記入すること		
職 歴	西暦 年 月 日 〇〇株式会社 入社 西暦 年 月 日 同上退職 西暦 年 月 日 医療法人〇〇会〇〇病院 入職 現在に至る		
賞 罰	西暦 年 月 日 〇〇賞受賞		
	職歴・賞罰がない場合は 「なし」と記入すること		

